

# 会 議 録

会議名	令和3年度 第3回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	令和3年7月20日(火) 8:45~12:15
開催場所	丸亀市役所4階会議室兼災害対策本部(北)
出席者	<p><b>出席委員</b> 岩永十紀子、鹿子嶋仁、高濱和則、井上達也、嵯峨根真千子</p> <p><b>欠席委員</b> 佐藤友光子</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 山地幸夫 (市長公室秘書政策課) 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 施策評価について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、第3回目の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。議事に入ります前に、本日の会議資料を確認します。</p> <p>以後の議事につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、ヒアリングに入ります前に、現在5名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。事業評価の方法などについて確認しておきたいと思っておりますので、事務局より説明をお願いします。</p>
宇野	<資料に基づき説明>
鹿子嶋会長	<p>それでは、まず「1. 子育て支援の充実」です。</p>
高濱副会長	<p>井上委員のご意見に、幼稚園、保育所の統合に関して、市負担額削減の観点からという視点があり、子どもの数が減少する中で、どこの自治体もそうした流れがありますので、統合等について一歩踏み込んだ方向性を、行政として明確にした方が良いと思います。</p>
窪田課長	<p>丸亀市の場合、こども未来計画の中で、中央保育所と西幼稚園の統合によるこども園化など、園名も含めてお示ししています。</p>
高濱副会長	<p>時の流れとともに、やはり不便であるなど様々な意見が出て、うやむやになるのが世の常ですので、広報の仕方も含めて適切にすすめていただきたいと思います。</p>

鹿子嶋会長	井上委員のご意見には、統合の他に、公立から私立への移行をすすめるべきという視点もあります。
山地公室長	丸亀市の場合、0歳児保育については、私立園を中心に実施していただいています。一方で、発達障がいなど障がい児の保育は公立が中心となって、ある程度役割分担をしながら運営している部分はあります。
井上委員	例えば高松市ですと、基本的に民間の幼稚園しかありません。また、善通寺市でも、公設民営のような手法を取っているように思います。民間が担えるのであれば基本的に民間にお願いし、採算性などでできない場合は公立が補うといったような考え方を、明確にできれば良いと思います。
山地公室長	入所判定においては、基本的に私立の定員を優先して残りを公立が担っていくようにしています。
鹿子嶋会長	丸亀市で待機児童は発生していますか。
山地公室長	年度当初ですと、数年前はいましたが、今は発生していません。
鹿子嶋会長	それでは採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「2. 子どもの教育の充実」です。
岩永委員	学校教育のIT化の現状について教えてください。
窪田課長	国が進めているGIGAスクール構想に基づいて、今年の3月末までに1人1台のタブレット端末を整備しました。教職員のIT教育に関する知識の普及や、教科への取り入れなど様々な課題があり、スタートを切ったばかりで、今後、学習用のデジタル教材も含めて導入していく段階です。
嵯峨根委員	教職員も、人材育成の面でこれからITの勉強をしていかなければならないということですか。
窪田課長	全ての教職員が、GIGAスクール構想が目指す教育活動に耐えうるデジタル知識があるかということそうではありません。教育現場でのデジタルの扱い方は、普段のデスクワークでのIT知識とは異なると思います。
高濱副会長	ITに関しては、習うより慣れよだと思います。IT人材を育てなければならないと構えるのではなく、職員ができない部分をITがカバーするという考え方で、慣れて使いだしたらそれに勝るものはないという意味では、自ずと知識が身についてくるという面も一方ではあると思います。

岩永委員	学校の方で、民間事業者からの支援員を配置するような仕組みもあるようです。
鹿子嶋会長	私どももこれまで遠隔授業をしたことはありませんでしたが、やってみると良い面もあります。コロナが収まった後も、新しく取り入れたもので今後も活用できるものは広まっていくと思います。それでは採決に入ります。＜C：4、D：1 判定C＞ 次は、「3. 環境に配慮した社会づくり」です。
井上委員	成果指標について、目標値が高いという点もありますが、達成できていないものがいくつか見られます。
岩永委員	担当課の成果指標の見直しでは、ゼロカーボン宣言に伴う市全体の温室効果ガス排出量に関する指標が必要とあります。
高濱副会長	産業界からしますと、ゼロカーボンは難しく、やはりプラスとマイナスでゼロを目指すカーボンニュートラルの考え方になります。
鹿子嶋会長	私どもの大学でも、設置している太陽光発電でCO <sub>2</sub> がいくら減らせたという表示があります。
高濱副会長	そうしたところは適切に評価すべきで、やはり市民が見たときに自分の家でも取り組もうという意識が出てきますので、行政にもそうした役割はあります。
鹿子嶋会長	それでは採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「4. 廃棄物の適正処理と再資源化」です。
高濱副会長	コロナ禍でテイクアウトが増えていること、巣ごもりやテレワークなどで在宅時間が増え、家の整理をする時間ができて捨てるものが増えていることを考えますと、ごみ処理施設の稼働率は上がっていると思います。ごみが増えても、適切に処理できていることはプラスで評価すべきとも思いました。 また、リサイクル率を上げることが基本であり、集められずに不法投棄されているものが問題になっていますので、徹底的に回収するよう行政にはお願いしたいと思います。
鹿子嶋会長	不法投棄、水質や土壌汚染などを止められるかどうかが大事です。リサイクルするには実は大変なエネルギーが必要で、コストや地球への負荷が高いとも言われています。不法投棄などがなされず、適正に収集、処分され、環境に悪影響を与えない状況になっていれば十分でないかと思います。
高濱副会長	海ごみについても、漁業関係者が使用したものが一番多かったという結果が出てお

	り、個人の意識を変える取組を徹底する必要があると思います。
鹿子嶋会長	それでは、採決に入ります。＜D：5 判定D＞ 次は、「5. 緑のまちづくりの推進」です。
井上委員	木を植えれば、カーボンニュートラルにも貢献できますが、そうした視点の指標がなく、市民にも取組は見えません。
鹿子嶋会長	公園ボランティア人材の確保に苦慮しているようですが、学生などのボランティア活動のニュースも良く見ますし、学校等と連携する取組は良いと思います。
高濱副会長	子どもたちが安全に遊べる公園は絶対に必要です。道路沿いに植えられている木について、市街地は理解できるのですが、山間地域にまで必要なかどうか、管理コストの面からも疑問があります。
井上委員	高松市でも、駅から空港までの通りの植樹について賛否両論があり、バスレーンとして活用すべきではないかといった意見もあります。
岩永委員	国土交通省からすると、光を遮ったり、衝突時の衝撃緩和、景観向上の目的があるようです。
鹿子嶋会長	それでは採決に入ります。＜D：5 判定D＞ 次は、「6. 土地利用と住環境の充実」です。街なかの再生について、リノベーションは民間に任せざるを得ない面がありますし、それでもやはり行政で何か抜本的なことはできないのかという気もします。
高濱副会長	空家については、法制化が先だと思います。除却が進まない場合の仕組みづくりや、その費用の負担まで踏み込んだ内容が必要です。
鹿子嶋会長	それでは採決に入ります。＜C：6 判定C＞ 次に、「7. 公共交通の充実と離島振興」です。
高濱副会長	現状として、公共交通は自治体や事業者それぞれが別々に運営していますが、今後車に乗れない人がどんどん増えていく中で、広域的な考えを持つ必要があります。線で結べない公共交通ではいけないと思います。また、観光客の利用と地域の方の利用をどう融合させていくかも課題です。
鹿子嶋会長	公共交通は、様々な分野にわたる基礎的なインフラのようなものだと思います。高齢者の運転免許証返納ともセットで考える必要がありますし、ここは本当に力を入れていかないと、まちづくり全体がうまく回らないような気がします。それでは、採決

	に入ります。＜D：5 判定D＞ 次に、「8. 道路環境の整備」です。香川県全体では交通事故が多いですが、丸亀市では数字を見る限り、減少傾向にあるようです。
岩永委員	市道の舗装補修・改良延長の指標については、達成度が低くなっています。
宇野	実際に現場に入って工事を進める段階で、より経費がかかる工法となり、成果に影響したかたちとなっています。
高濱副会長	結果としてそうなったもので、悪い評価にはならないと思います。
鹿子嶋会長	それでは採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「9. 生活排水処理施設の整備」です。
高濱副会長	人口減少の中、下水道施設はコストがかかりますし、コンパクトシティが推進されればうまく循環していくと思います。
岩永委員	市民満足度が下がっている要因はありますか。
窪田課長	大雨時に同じ場所が冠水するというような状況に対する不満がアンケート結果に表れているのではないかと思います。
井上委員	土器川は国管理、西汐入川は県管理ですが、それだけで話が終わると市民にとっては不安だけが残ります。国や県への強い要望などが報道でもされれば、姿勢が分かるのですが。
窪田課長	国や県への要望は常に行っています。それぞれの役割分担の中で、市としては排水ポンプの設置等を進めているのが現状です。
井上委員	川の法線を変えるような抜本的な議論をしないと、10年、20年先も同じことが続くと思います。
鹿子嶋会長	それでは採決に入ります。＜C：4、D：1 判定C＞ 次は、「10. 災害に強い都市基盤の整備」です。河川の部分では、先ほどの話と重複する点があるかと思います。特にご意見がなければ、採決に入ります。＜C：1、D：4 判定D＞ 次は、「11. 危機管理体制の強化」です。
高濱副会長	目標値とのかい離が大きい成果指標については、段階的な設定が必要で、そのうえでできていることとそうでないことを明確にした方が良いと思います。

鹿子嶋会長	個人的には、災害対応に関する目標値は、あまり低く設定して欲しくないという点があります。
嵯峨根委員	香川県は災害が少なく、危機管理に関心の高い方は良いのですが、関心が低い方は、例えば地震と水害で逃げる場所が違うことも知りません。当事者意識として持てるような機会が充実すればよいと思います。
鹿子嶋会長	隣の徳島県と比べても、香川県の方が意識が低い印象はあります。
高濱副会長	自助・共助・公助と言われていますが、自助の次に「近助」、つまり近所の人との助け合いも意識するべきです。
嵯峨根委員	災害時に情報を得るにはやはりスマートフォンが便利ですが、高齢の方になると苦手意識があります。災害時の使い方が学べるような機会があれば良いと思います。
高濱副会長	私が住んでいる三豊市では、ワクチン接種の申し込みの際、電話が2割、スマートフォンなどインターネットが8割という結果が出ており、いわゆるガラケー所有者が多いことが分かりました。そこで、災害時における防災行政無線の重要性が再認識されたところです。
鹿子嶋会長	ハザードマップは、地震や大雨など災害のタイプごとに違います。地域をよく知っている地元の人が自分の住んでいる地域のハザードマップを作るのが一番良いのですが、そうした面では、地区防災計画の策定が遅れていることは気になります。他になければ採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「12. 消防・救急体制の充実」です。 特になければ、採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「13. 交通安全・生活安全の充実」です。 特になければ、採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「14. 農林水産業の振興」です。
岩永委員	この分野は、市民満足度がかなり上がっています。
鹿子嶋会長	過去に業務の一部について、個別にヒアリングも実施したかと思います。他になければ採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「15. 商工業の振興」です。コロナ禍という今の時世で判断が難しいところ です。
高濱副会長	中央商店街の振興に関して、最近少しは出店の動きがありますが、果たして今後さらに増えていくのだろうかとも思います。駅前の一番いい場所に立地しているのは間

	<p>違いはないのですが、シャッターを下ろしている店舗の所有者自身が商売をする気がなく、かと言って物件を売る気もない状況です。行政が接収でもしないと、本当に変わらない気がします。</p>
<p>嵯峨根委員</p>	<p>商店街で実施されているイベントは、関係者が内輪で楽しんでいる感じがして行きにくいと思ってしまうようです。埼玉県<small>の</small>川越市をモデルにしても良いと思いますが、通りだけを見てはいけませんし、住んでいる人も観光客も行ってみたいくなるようなまちを目指すべきです。</p>
<p>鹿子嶋会長</p>	<p>駅前に関して言えば、個人的にスーパーは結構便利だと思いました。イベントについては、休日のマルシェのようなオープンなものもありますし、規模などによるのかもしれません。</p>
<p>井上委員</p>	<p>駅地下に駐車場はありますが、根本的に駐車場の問題もあります。</p>
<p>高濱副会長</p>	<p>新しい市民会館も予定しているようですが、街なかに駐車場が不足していることは致命傷です。コンパクトシティの考え方からすれば、街なかに建設するのは当然なのでしょうが、旧丸亀市南部地域への人口の二極化が起きている中で、街なかの駐車場不足、自動車社会の現状からしても、様々な意見が出るのが予想されます。</p>
<p>鹿子嶋会長</p>	<p>それでは、他になければ採決に入ります。＜C：2、D：3 判定D＞ 次は、「16. 観光の振興」です。</p>
<p>高濱副会長</p>	<p>コロナで人が動かない状況の中で、観光業界は完全に疲弊しています。観光客が戻ってきた時に、前よりも魅力的な状態にするには何をすべきなのか、プラスの目標を持って取り組んでおくべきです。キャッシュレス対応に始まって、一つひとつアフターコロナを見据えた取組はすすめてくれているようですが、今なら議論はいくらでもできるのでしっかり準備しておいて欲しいと思います。</p>
<p>嵯峨根委員</p>	<p>コロナ後に訪れるための予習として、オンライン観光を楽しむ方も増えています。トレンドの変化が速く、たくさんの魅力的な都市の中で、丸亀を選んでもらうためにも、その競争にまず乗ることが重要で、そうした側面からもどんどん情報発信すべきです。また、今、瀬戸内が世界的にも有名になっていますが、それを売りにしているのは広島県くらいであり、もったいないと思います。アフターコロナを考えても、今挑戦することが必要と感じます。</p>
<p>高濱副会長</p>	<p>香川県は、瀬戸内国際芸術祭という素晴らしい資源を持っています。広域の視点で、それぞれの観光資源を生かされれば、やり様によっては観光客がもっと多く訪れる可能性を持っています。</p>

鹿子嶋会長	<p>今のコロナの状況は、新しいことを始める準備期間でもあるのかもしれませんが。他になければ採決に入ります。＜C：3、D：2 判定C＞</p> <p>次は、「17. 地域保健・医療の充実」です。成果指標の目標値設定に関する意見が多いようです。</p>
高濱副会長	<p>現実が30%代なので、まず第1ステップで40%くらいに定めて、そのために取り組んでいることが分かれば評価しやすいです。目標を高くというのは当然ですが、かい離し過ぎていると思います。</p>
窪田課長	<p>特定健診受診率の目標値60%は、国の数字に合わせていたと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>他になければ採決に入ります。＜C：2、D：3 判定D＞</p> <p>次は、「18. 高齢者福祉の充実」です。</p>
岩永委員	<p>全国的に問題となっている介護人材の不足ですが、裾野を広げるような、ヘルパーレベルの人たちを介護福祉士にするという取組を国はしたのですが、リーダーをつくるということを全然やってきませんでした。介護福祉士の国家試験は、養成校を出た人も、短い研修を受けた人も受けられるようになっているため、レベルアップが図られません。きついからという理由で若い人がなりたがらないのですが、せっかく大学や専門学校に行こうと思っても、そのメリットがないようなシステムになっているのです。</p>
鹿子嶋会長	<p>待遇面も大きな理由ですか。</p>
高濱副会長	<p>待遇面は国の方で随分と改善してくれています。離職率が高いのでしょうか。</p>
岩永委員	<p>養成校出身者の場合はそうでもありません。知識や技術がない人たちには、きつい仕事だと思います。</p>
高濱副会長	<p>今後、高齢者の人数はさらに増えていきます。</p>
岩永委員	<p>爆発的に増えるにもかかわらず、介護福祉士を養成できない状況です。国家試験を受ける人が減ってきています。私どもの大学も、学生が来なくなりましたので、募集停止となりました。民間事業者でも、人手不足で営業を辞めるところも出ています。</p>
高濱副会長	<p>看護師、准看護師のように、資格を分けるべきだと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>この問題は、国の施策自体がどうなのかといったところもあります。それでは採決に入ります。＜C：5 判定：C＞</p> <p>次は、「19. 障がい者福祉の充実」です。</p>



嵯峨根委員	障がい者への理解を深めるためにも、交流できる場の提供や、教育の中でも取り組んでいただけたらと思います。
岩永委員	現在は学校の方でもできるだけ普通学級でともに学校生活を送れるようにという方針なので、子どもたちの方があまり境目を持っていないと思います。
井上委員	成果指標が少ないので、これだけでは判断が難しいです。
岩永委員	就労移行支援を行っている事業者は、1か所のみということですか。
窪田課長	定着支援を行っているのが1か所で、移行支援を行っているのは2か所です。
鹿子嶋会長	<p>それでは採決に入ります。＜C：5 判定：5＞</p> <p>次は、「20. 暮らしを支える福祉の充実」です。この施策も、取組状況を確認できるような指標ではないと感じました。それでは採決に入ります。＜C：5 判定C＞</p> <p>次は、「21. 歴史的資源の保存と活用」です。</p>
岩永委員	資料館の入館者数が減っていますが、活性化しようという動きはありますか。
窪田課長	開館 50 周年に向けた事業の準備や、ニッカリ青江を活用したイベントの検討など行っています。
井上委員	石垣修復の進捗率はないのですね。
窪田課長	計画策定後に崩れたので定めていません。
鹿子嶋会長	<p>熊本城は大々的に寄附を募っていましたが、寄付金額の目標は定めていないようです。他になければ採決に入ります。＜C：2、D：3 判定D＞</p> <p>次は、「22. 文化芸術の振興」です。この分野もコロナの影響を受けています。</p>
岩永委員	新たに整備する市民会館には期待しています。ただ、観音寺市も新しい市民会館ができて、新たな取組をコンスタントにやっていますが、なかなか観客を集めるのは難しいようです。丸亀市は近隣の市町に比べても文化資源に恵まれています。例えば、岡山と比べますと、文化的なレベルで言うと段違いであることは否めません。文化にもう少しお金をかけて欲しいとは思っています。
嵯峨根委員	文化芸術は長い時間をかけて育むもので、幼い頃から触れられる場所さえあれば、自然に養われていくと思います。

鹿子嶋会長	ハードとともに、ソフト事業と合わせて振興を図るのが理想的です。
岩永委員	丸亀市は、文化芸術祭のようなイベントはありますか。
宇野	丸亀市独自の文化芸術祭を毎年秋に開催しています。
山地公室長	ソフト事業として、猪熊美術館では来場してもらうだけでなく、学校などに出向いてワークショップなどを行っています。
鹿子嶋会長	他になければ採決に入ります。＜C：3、D：2 判定C＞ 次は、「23. 生涯学習活動の推進」です。
岩永委員	生涯学習センターの今後は、新市民会館と合わせて検討されるのですか。
窪田課長	現在、市民会館の場所について議論されていますので、その進捗によって生涯学習センターのあり方が定まってくるものと思います。
井上委員	マルタスが生涯学習センターの位置付けになるのではないのですか。
窪田課長	マルタス（市民交流活動センター）は、市民活動の拠点を目指した場所です。
鹿子嶋会長	他になければ採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「24. スポーツの振興」です。
岩永委員	各委員の評価が低いのは、スポーツ施設の利用者数が目標値に程遠いことと、重点プロジェクトの市総合運動公園の駐車場整備が遅れているためだと思います。
高濱副会長	カマタマーレ讃岐については、県も市も一生懸命応援できることに取り組んでいますが、勝負の世界なので強くなれば集客は増えるのですが。
鹿子嶋会長	プロスポーツの力を市のにぎわいに融合できないかということで全国各地でも取り組まれています。それでは、採決に入ります。＜D：5 判定D＞ 次は、「25. 人権尊重社会の実現」です。特にご意見がなければ、採決に入ります。 ＜C：4、D：1 判定C＞ 次は、「26. 男女共同参画社会の実現」です。
岩永委員	目標値に達していないものが多いですが、一つひとつどれも大切な指標だと思い、D評価としました。
高濱副会長	私どもはものづくりの企業ですが、もともと女性社員が少なく、責任ある立場にも

	なりたくないという人が多いのが実情としてあります。
鹿子嶋会長	審議会の男女比率などは、単純に5対5で良いのではないかと感じます。女性管理職の比率は、何%が適正かというところは難しいですが、官から始めよ、市役所が高い数値を示せるといいとは思いますが。
高濱副会長	私は県職員の面接にも関わっていますが、最近では能力の高い女性が多く、近い将来には女性管理職の割合が高くなっていくだろうという感想を持っています。
井上委員	むしろ女性の管理職割合を指標にする必要はないのではないかと思います。
鹿子嶋会長	昔に比べると、随分と様変わりはしてきていると感じます。
岩永委員	まだまだなところもたくさんあると思います。
高濱副会長	働き方改革が進んでいますが、女性はやはり家庭のことを考えますので、そうした意識から現実になくしていく社会を目指す必要があります。
岩永委員	そういった意味では、ワークライフバランスが進んでこないといけないのですが、それに関する指標も伸びていません。
鹿子嶋会長	確かに、進捗度合が遅いようにも思います。それでは採決に入ります。＜C：3、D：2 判定C＞ 次は、「27. 情報発信と地域情報化」です。特にご意見がなければ、採決に入ります。＜B：1、C：4 判定C＞ 次は、「28. 市民参画と協働の推進」です。事前評価は、みなさんC評価ということですが、他になければ採決に入ります。＜C：5 判定C＞ 次は、「29. 地域コミュニティの活性化」です。
高濱副会長	自治会の加入率を上げる努力はどんどん進めてくれれば良いと思いますが、目標値は考える必要があります。一方で、自治会加入の有無を問わず、コミュニティが活性化していくあり方の検討も必要です。
鹿子嶋会長	最近では、自治会の総会を遠隔でやった事例もあり、そうすると、若い世代が参加してくれたとの話も聞いています。高齢化が課題の自治会において、意外な効果が出たとのこと。
岩永委員	自治会のあり方が変わってくるかもしれません。
鹿子嶋会長	他になければ採決に入ります。＜C：5 判定C＞

	<p>次は、「30. 財政運営の効率化」です。</p>
井上委員	<p>ボートレース事業に関連して、新市長のマニフェストである給付金事業は、金額が変わっていった経緯について、広報紙などでしっかりと説明して欲しいと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>他になければ採決に入ります。＜C：4、D：1 判定C＞</p> <p>次は、「31. 行政運営の最適化」です。</p>
井上委員	<p>この分野も成果指標が少ないですね。</p>
鹿子嶋会長	<p>他になければ採決に入ります。＜C：5 判定C＞</p> <p>この議題に関しては以上になります。議題2：その他で事務局よりございますか。</p>
宇野	<p>＜今後の予定、手続きについて協議＞</p>
井上委員	<p>市長への報告書提出は、会長、副会長が代表してということですが、私も参加させていただきたいと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは今後の予定ですが、まず、事務局より報告書（案）を送っていただき、ご意見等があれば報告していただきまして、最終私の方で確認して決定するという流れでよろしいでしょうか。市長への報告書提出は、あらためて全委員に対してご案内いただくとのことです。</p> <p>それでは、以上で本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">（会議終了）</p>